

4. システム開発

4. 1 企業と法務（業務分析（2））

問題 1

- 決定表に関する説明として、適切なものはどれか。
- ア. 決算時点における財務状況をまとめた表である。
 - イ. 全体の分布を把握するために階級と度数をまとめた表である。
 - ウ. 複雑な問題の諸条件と行動をまとめた表である。
 - エ. 論理演算の結果をまとめた表である。

問題 2

- グラフの中で、数量の大小関係を比較するのに最も適したグラフはどれか。
- ア. 円グラフ
 - イ. ドーナツグラフ
 - ウ. 棒グラフ
 - エ. レーダチャート

問題 3

- 折れ線グラフの利用方法として、最も適切なものはどれか。
- ア. ある事業所の過去 3 年間の売上高の推移を表現する。
 - イ. 商品の価格、機能、デザインなど、複数の項目の特徴を比較する。
 - ウ. 全社の売上高に占める各事業所の売上高構成比を表現する。
 - エ. チェーン店における最寄駅の乗降客数と来客数の相関を表現する。

問題 4

- ある事象の特性を、座標上の円の大きさと位置で表すグラフはどれか。
- ア. ドーナツグラフ
 - イ. バブルチャート
 - ウ. ヒストグラム
 - エ. レーダチャート

問題 5

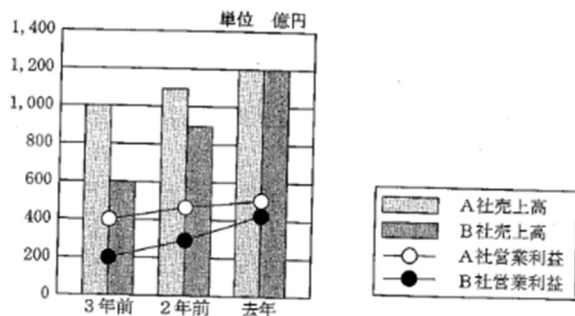
業務の改善提案に対する報奨を次の表に基づいて決めるとき、改善額が 200 万円で、かつ、期間短縮が 3 日の改善提案に対する報奨は何円になるか。

条件	改善額100万円未満	Y	Y	N	N
	期間短縮 1 週間未満	Y	N	Y	N
報奨	5,000円	○			
	10,000円			○	
	15,000円		○		
	30,000円				○

- ア. 5,000 イ. 10,000 ウ. 15,000 エ. 30,000

問題 6

A 社、B 社の売上高及び営業利益を表す次のグラフの分析結果に関するきじゅつのうち、適切なものはどれか。ここで、売上高営業利益率＝営業利益÷売上高とする。



- ア. ある事業所の過去3年間の売上高の推移を表現する。
- イ. 商品の価格、機能、デザインなど、複数の項目の特徴を比較する。
- ウ. 全社の売上高に占める各事業所の売上高構成比を表現する。
- エ. チェーン店における最寄駅の乗降客数と来客数の相関を表現する。

4. 1 企業と法務 (問題解決手法)

問題 1

問題解決手法の一つであるブレインストーミングのルールとして、適切なものはどれか。

- ア. 各自でアイデアを練り、質が高いと思うものだけを選別して発言する。
- イ. 他人が出したアイデアを遠慮なく批判する。
- ウ. 他人が出したアイデアに改良を加えた発言は慎む。
- エ. 突飛なアイデアも含め、自由奔放な発言を歓迎する。

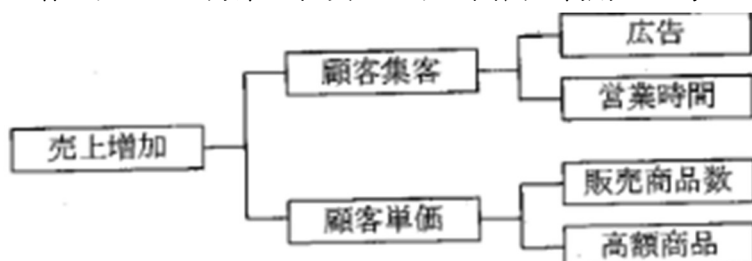
問題 2

KJ 法に関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. 解決したい問題やテーマについてグループで討議し、その結果を集約していきながら全体の結論を導き出す方法である。
- イ. 収集した数多くの意見を整理して相互の関連によってグループ化し、解決すべき問題点を明確にする方法である。
- ウ. 複数の選択肢から判断・分岐する結果を木構造で表して、意思決定に利用する方法である。
- エ. 目的や目標を達成するための手段・方策を論理的にたどっていく展開を木構造で表して、最適な手段・方策を追求していく方法である。

問題 3

売上を増やすための方策を、次のような図表を利用して考えた。このような手法を何というか。



- ア. 親和図法
- イ. デシジョンツリー
- ウ. バズセッション
- エ. ロジックツリー

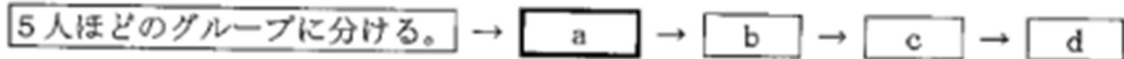
問題 4

旅費精算方法の改善についてブレインストーミングを行っているときの発言記録の中で、ブレインストーミングのルールに適合した発言をしているのは誰か。

- A 君 “旅費精算の起票部門の改革に絞って議論しよう。”
B 君 “パソコンで入力するだけでなく、承認もできるようにしよう”
C 君 “パソコンで入力できるわけがない。伝票量も少ないからその必要はない。”
D 君 “もう少し発言を吟味して、本質的な意見だけを出そうよ。”
ア. A 君 イ. B 君 ウ. C 君 エ. D 君

問題 5

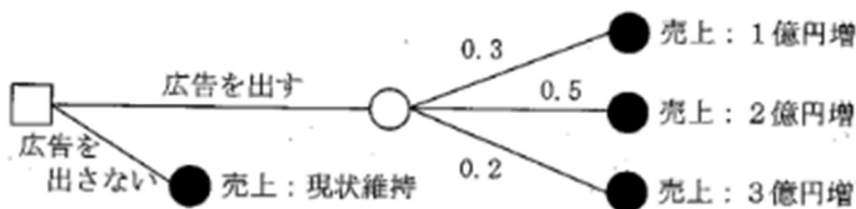
あるテーマについて、バスセッションを行うことにした。次に示す一般的な運営方法の順番において、a～d のそれぞれにア～エのいずれかが入るとした場合、a に入る適切な記述はどれか。



- ア. テーマについて自由に 10 分ほど討議させる。
イ. テーマについての見解をまとめさせる。
ウ. リーダと記録係を決めさせる。
エ. リーダにグループの見解を発表させる。

問題 6

図は、A 社が広告を出すか否かを判断するための決定木である。枝の数値が分岐する確率を表すとき、A 社が広告を出した場合に期待できる売上増加額は何億円か。



- ア. 1. 9 イ. 2. 0 ウ. 2. 1 エ. 2. 4

4. 1 企業と法務（意思決定）

問題 1

解決しなければならない問題について、情報を収集し、結果と原因の関係を整理する図式はどれか。

- ア. 管理図 イ. 系統図 ウ. 散布図 エ. 特性要因図

問題 2

ゲーム理論において、核戦略の取り得る最大利益を比較して、最大利益が最も大きい戦略を選択する方法はどれか。

- ア. 期待値原理 イ. シミュレーション
ウ. マクシマックス原理 エ. ミニマックス原理

問題 3

発注方式の一つである定量発注方式に関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. 在庫数が一定以下になったら、一定数量を発注する方式である。
イ. 発注間隔をあらかじめ決めておき、その都度、最適発注量を求めて発注する方式である。
ウ. 発注担当者が、在庫数が少なくなったと感じたら、自らの経験則をもとに発注数量を決めて発注する方式である。

エ. 二つの箱に商品を詰めておき、片方の箱が空になったら 1 箱分の商品を発注する。

問題 4

与信管理の目的として、適切なものはどれか。

ア. 品切れが起きないように商品の発注を管理する。

イ. 商品の在庫数量が適正になるように調整する。

ウ. 商品を掛売りしても問題がないかを確認する。

エ. 商品を仕入れるときに、どれくらい売れるかを予測する。

問題 5

いずれも時価 1 0 0 円の四つの株式があり、そのうちの一つに投資したい。経済が高成長、中成長、低成長の場合、それぞれの株式の予想値上がり幅が表のとおりであるとき、値上がり幅の期待値が最も高い株式はどれか。ここで、高成長、中成長、低成長になる確率はそれぞれ 0.4、0.4、0.2 であり、経済が成長しない場合については考えないものとする。

単位 円

	高成長	中成長	低成長
株式 A	20	10	15
株式 B	30	20	5
株式 C	25	5	20
株式 D	40	10	-10

ア. A

イ. B

ウ. C

エ. D

問題 6

解を求めるのにシミュレーションを適用する例として、最も適したものはどれか。

ア. PERT で示されたプロジェクトの全作業における作業ごとの作業時間と作業間の順序関係から、最短のプロジェクト期間を求める。

イ. 購入累積金額、直近の購入日、購入頻度から、ダイレクトメールを送付する顧客を抽出する。

ウ. 商品ごとの過去 10 年間の年間販売実績額と今後の商圈人口変化の予測パターンから、向こう 3 年間の販売予測額を求める。

エ. 複数の機械の平均故障発生時間間隔と平均修理所要時間、修理担当者数を算出式に入力して、平均修理待ち時間を求める。

問題 7

定期発注方式で購買品を調達するに当たり、発注サイクルを 10 日、納入リードタイムを 5 日、1 日当たりの平均消費数を 50 個、安全在庫数を 30 個とした場合、今回の発注は何個か。ここで、発注は、発注日の消費終了後に行うものとし、今回の発注時点での在庫数は 300 個で、発注残はないものとする。

ア. 420

イ. 450

ウ. 480

エ. 530